

四国中央市のふるさと納税支援強化へ向け現地オフィスを開設

地域密着型体制で寄附額増加と地域振興を目指し、まちの未来づくりに本格コミット



地域活性化をビジョンに掲げる株式会社フューチャーリンクネットワーク（本社：千葉県船橋市、代表取締役：石井丈晴、以下FLN）は、四国中央市のふるさと納税事業の更なる成長と地域振興を図るため、同市内に新たに現地オフィスを開設いたしました。

概要

FLNは、2019年度より四国中央市からふるさと納税業務を受託し、寄附額の拡大と事業を通じた地場産業の活性化に向けた支援を行ってきました。

このたび、寄附額「30億円」を令和7年度の目標として掲げ、よりスムーズな事業運営に向けて地域に密着した体制を構築するため、四国中央市内に直営の現地オフィスを開設いたしました。

新拠点の設置により、地元事業者への訪問支援や地域との連携強化を図り、ふるさと納税制度を通じた地域の活性化にこれまで以上に本格的に取り組んでまいります。

FLNのふるさと納税の強み

FLNのふるさと納税支援は、単なる業務代行にとどまらず、官民が一体となり寄附額の増加、安定的な制度運用、そして地域の未来につながる支援を行う点にあります。

1. 寄附伸長

寄附額は地域活性化の重要な指標であり、私たちは四国中央市の地場産業の象徴である紙製品の更なるPRをはじめ、農林水産業など多様な地域資源を活用した魅力的な返礼品づくりに取り組みます。また、データ分析とマーケティングの力を活用し、ターゲット層に響く訴求を強化します。

2. 安心・安全な運用

寄附が増えても混乱なく対応できるオペレーション体制を整備。事故の未然防止、迅速かつ丁寧なクレーム対応、そして制度の厳格な遵守により、高い寄附者満足度を維持します。

3. 地域の未来づくり

ふるさと納税はまちづくりの手段の一つです。地域課題の解決、地場企業の成長支援、自治体と連携した包括的な地域活性化を目指します。

四国中央市ふるさと納税を推進するための方針

FLNは四国中央市のふるさと納税事業において、「令和7年度 寄附額30億円」の実現を目指します。この目標達成に向けて、これまで培ってきた地元事業者との信頼関係や地域資源に関する知見を最大限に活用します。まず、寄附額の大部分を占める「柱返礼品」の戦略的育成に注力します。現在の人気返礼品の更なる磨き上げを行い、差別化と市場ニーズに応える魅力を高めます。加えて、「テール返礼品」も拡充し、バラエティ豊かな返礼品ラインナップを整備することで、寄附者の多様なニーズに対応します。また、今回の現地オフィス開設により、以下のような新たな展開が可能となります：

- 地元雇用の創出と信頼性向上
- インターネットに不慣れな事業者への訪問・支援体制の強化
- スピーディで柔軟な対応体制の構築
- 経験豊富なスタッフによる品質の高いオペレーション

今後の展開

FLNは四国中央市と約4年間にわたり、制度変更への対応や地域課題の解決を共に進めてまいりました。今回の現地オフィス設置を機に、より高品質で安定した運用体制を確立し、最短での寄附額増加を実現します。私たちは、ふるさと納税の成功がまちの未来につながると信じています。

四国中央市との強固なパートナーシップのもと、地域の声に耳を傾けながら、制度を超えた地域活性化を推進します。

今後もFLNは、地域に深く根差したパートナーとして、四国中央市の発展に全力で取り組んでまいります。

FLNのプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/58260